



笑顔いっぱい 夢いっぱい 仲間とともに 輝く明日へ!

よりよい中川小学校を目指して～学校評価の結果～



12月に行いました学校評価アンケートの集計結果を基に、学校評価検討会や学校評議員会(学校関係者評価会)で話し合われた内容をまとめましたので、お知らせいたします。

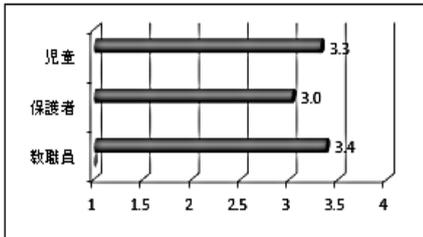
今回の結果を活かして、来年度以降も、笑顔いっぱい夢いっぱいの中川小学校になるように、全職員で取り組んでいきたいと思ひます。

〈グラフの見方〉

グラフは、A『はい』=4点、B『どちらかといえば「はい」』=3点、C『どちらかといえば「いいえ」』=2点、D『いいえ』=1点で換算し、平均値を棒グラフで示しました。80%がBと評価した場合は2.6点以上、80%がAと評価した場合は3.4点以上となります。また、()内は、保護者の方やお子さまに対する設問です。

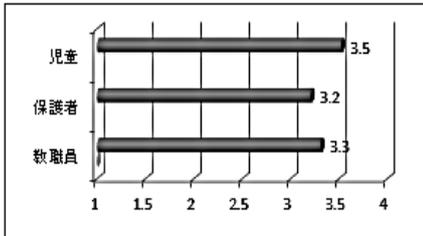


Q1:ひとりひとりに応じた学びを提供し、自ら進んで学ぶことができるようにします。(自ら進んで学習に取り組んでいますか)



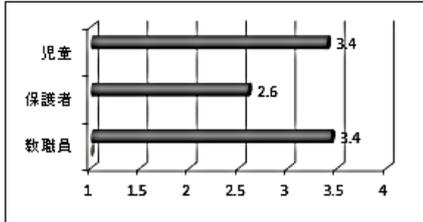
今年度も、自ら進んで学ぶ児童を育てるために、ひとりひとりの理解度や多様性に応じた学びを提供し、自分に合った学習方法を身に付けさせる取組を、全学年で行ってきました。さらに、今年度は基礎基本の定着を図った上で、自由進度学習を生かすことに焦点を当て、児童が選択できる機会や、自己決定する場面を増やす取組を行ってきました。今後も自分の目標を決めて、その目標を達成するために学習方法やペースを考えて、取り組むことができるような授業づくりをしていきます。

Q2:個に応じて分かる授業、できる授業を行います。(学習内容を身に付けていますか)



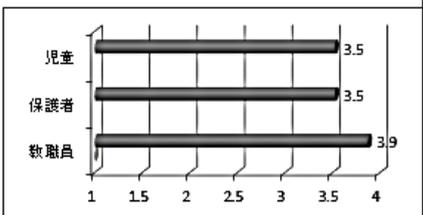
国語科・算数科・社会科・家庭科・音楽科・外国語活動・書写などで教科担任制を取り入れ、専門性を生かした指導ができるような体制を整えました。3年生以上は、朝の時間に漢字や計算などの基礎学力を定着する時間を確保しました。また業務や会議を精選することで児童が学校にいる間は、落ち着いてじっくりと児童と関わり、下校した後、しっかりと教材研究と授業準備をし、日々の教科指導に臨んでいます。今後はチームティーチングのより一層の充実を図るとともに、教職員で連携を取りながら、「分かる」「できる」授業づくりをさらに推進していきます。

Q3:読み聞かせを行うなど、読書活動の充実を図ります。(読書に親んでいますか)



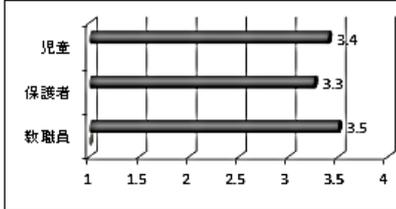
週に一度読書タイムを設けたり、港図書館から司書を招いてブックトークを行ったりしました。さらに、図書委員会が主体となって、全校に向けて、チームで図書室から生放送で図書に関するクイズを行ったことや、人権週間に人権に関わる図書を選んでコーナーを設置したことで、図書室利用を促すきっかけとなったと考えます。また、不定期ではありますが、ワークスペースで読み聞かせをし、さらにその本を展示したことで、読書に不慣れな児童も、本を手取る機会になったと思われます。今後は、図書委員による読み聞かせも企画しており、さらに児童にとって本が身近なものになるよう考えていきたいです。

Q4:行事等を通して、子どもの自主性や協調性を育てます。(行事等で、進んで行動したり、仲間と協力したりしていますか)



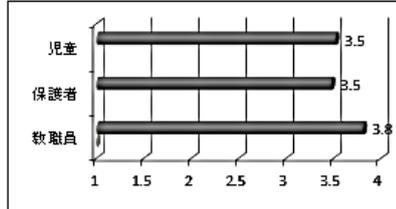
運動会では、表現運動や競争遊戯に向けて、自主的に練習に取り組んだり、仲間とアドバイスや応援をし合ったりしながら、成功を目指しました。また児童会行事では、各学級でアイデアを出し合い、協力して準備を進め、誰もが楽しむことができるお店を運営しました。作品展に向けての作品づくりでは、仕上がりにごだわって、最後まで自分の作品とじっくり向き合い制作したり、ペアの友達と協力して作品づくりを楽しんだりしました。また委員会活動やそれぞれの学級の係活動や当番活動でも、学校や学級をよりよくするために責任をもって取り組んでいます。今後も、児童が仲間と力を合わせて、主体的に学校生活を送ることができるよう支援していきます。

Q5:挨拶のできる子を育てます。(元気に挨拶をしていますか)



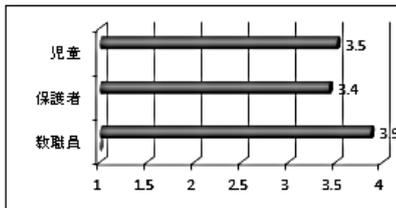
今年度も、毎月第1週目を「あいさつWEEK」として、「朝の挨拶運動」を行いました。どのような工夫をすれば、学校の皆が自分から気持ちのよい挨拶をすることができるかについて、代表委員会で話し合いました。毎月最終週も挨拶運動を行い、そこで出た反省を次月の活動に生かすことができるようにしました。土間だけでなく、校門や階段付近に代表委員が立ち、挨拶運動を行うことで、自分から挨拶をする児童をたくさん見ることができました。挨拶をされたから返すのではなく、友達や先生、学校に関わる人に対して自ら進んで挨拶をすることができるようになってほしいと思います。来年度も挨拶の大切さを伝える活動を考えていきます。

Q6:ペア活動や思春期セミナー、保育園児とのふれあいを通してやさしい心を育てます。(友達や家族、地域の人にやさしくしていますか)



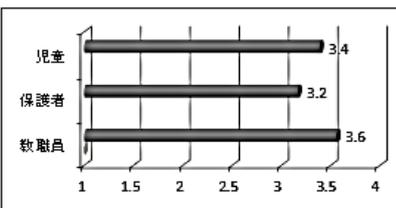
ペア活動、児童集会、思春期セミナー、保育園児との交流などを通して、やさしい心、相手を大事にする心を育ててきました。ペア活動では、全校児童集会でお店を協力しながら回ったり、作品展で作品を紹介し合ったりしました。またそれだけでなく、サークル対話やゲームを楽しむ時間を多く設けました。これらの活動を通して、相手を思いやる姿が多く見られました。休み時間には、6年生が1年生に遊びを教えたり、異学年の友達とドッジボールや遊具で遊んだりする姿が見られます。今後も、異学年との交流の場を増やし、相手を思いやるやさしい心を育てていきます。

Q7:体育集会や体育の学習、休み時間を通して、体力の向上を図ります。(運動に親しんでいますか)



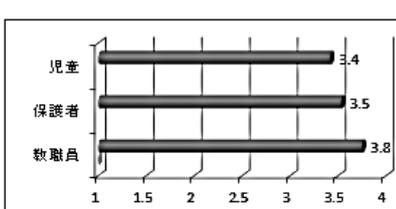
体育集会では縄跳び集会やドッジボール集会など、児童全員が楽しく体を動かす機会を設けました。また、体育の授業では、運動する場や練習方法を複数用意し、児童の興味関心や学習状況に応じて、児童全員が積極的に運動に取り組むことができました。冬の寒い日も、縄跳びカードを活用して、体が温くなるほど運動に親しんでいました。休み時間では、一輪車や竹馬の貸し出し、縄跳びエリアを設定し、様々な運動に触れることができました。今後も、誰もが運動に親しむことができるよう、集会や授業等を工夫していきます。

Q8:食に関する指導や保健指導により、健康な体づくりに努めます。(健康な生活を意識していますか)



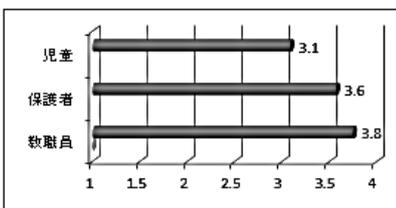
食に関する指導では、学年の実態に応じたミニ授業を実施したり、家庭科といった教科の関連する単元のところでは栄養教諭から話をしたりしました。また、給食の時間に巡回をして声をかけるなど、授業の内容や食べることへの関心を継続的に意識できるようにしました。保健指導については、身体測定前の時間を使い、学年の発達段階に応じた内容で行いました。夏と冬休みの前には、規則正しい生活習慣を維持することを目的に、健康カレンダーを配付しました。また、4年生は思春期セミナー、5年生は全国はみがき大会、6年生はあいち健康プラザの出前授業(心の健康)に参加し、学びを深めました。6年生は2月に心肺蘇生法講習への参加も予定しています。今後も食と保健の両面から、児童の健康意識を高める取り組みを進めます。

Q9:教育相談週間やスクールカウンセラーの活用、声かけを通して、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。(安心して学校生活を送っていますか)



今年度も学期に1回、教育相談週間を設けました。その際、担任以外やスクールカウンセラーとも面談を希望できるようにしています。また、毎週スクールカウンセラー(SC)が来校し、保護者や児童からの相談を受けています。昨年度に引き続き、4年生を対象にSCとの全局面談も実施し、問題の早期発見に努めるとともに、SCに気軽に相談できるようにしました。今後も、教職員間で児童についての情報交換を通して共通理解を図り、全職員で全児童を見守っていくとともに、SCなど教職員以外にも相談できるような体制を整えていきます。

Q10:中川だよりや学年だよりなどを通して、学校の様子を保護者・地域に知らせます。(中川だよりや学年だよりは、学校の様子を知ることに役立っていますか)



中川だよりや学校ホームページ内の「児童の活動」を通して、学校での児童の様子を保護者の皆様に伝えられるようにしています。また学年だよりでは、各学年の来月の予定やご協力いただきたい内容をできるだけ分かりやすく簡潔に伝えられるように努めています。個人情報観点から、各種たよりに鮮明な写真を載せることは難しいですが、できる範囲で学校生活が伝わるように載せていきたいと思ひます。ぜひ、ホームページや各種たよりをご家族そろってご覧になって、写真や文だけでは伝わらない実際の様子や気持ちを児童に聞いていただきたいと思ひます。

学校評価関係者会では、自主学習や自由進度学習についての話題があがりました。自主学習については多くの子どもが昨年度に比べて、進んで考えて取り組むようになってきた一方で、悩んでいる子どももまだいるという声をいただきました。

また自由進度学習を生かした授業の成果をもっと保護者の方に伝えるように工夫していかななくてはならないということも、改めて実感しました。

これらのことも含め、児童にとっても、保護者・地域のみならず、より安心安全な学校になるように、改善に努めていきたいと思ひます。引き続き、ご支援ご協力よろしくお願ひします。